

新しい水稻奨励品種（もち種）「こはるもち」の特性

～2019年度より栽培開始！大粒で多収、良品質なもち米新品種～

井手 康人（愛知県農業総合試験場作物研究部）

【平成31年3月15日掲載】

【要約】

2019年より一般栽培が開始される新しい水稻奨励品種「こはるもち」は、中生熟期であり、収量および病虫害抵抗性に優れるなど、栽培安定性が高い。また、もちやおこわへの加工適正も良好である。

8年間に渡る延べ32箇所の現地試験においても、ほぼ全ての試験地で「有望～やや有望」と高い評価が得られており、今後の普及が大いに期待される。

1 はじめに

愛知県の新たな水稻奨励品種（もち種）として、2017年に「こはるもち」が採用された。一般栽培については、2019年度より開始される予定である。

本稿では「こはるもち」の生育特性、加工特性および現地試験結果について記載する。

2 生育特性

生育特性については表1に示した。

- (1) 愛知県平たん部における早植栽培（5月中下旬移植）では、出穂期は「十五夜糯」より3日遅く、普通期栽培（6月上中旬）では1日遅い。愛知県の熟期区分では「あいちのかおりSBL」級の中生種である。
- (2) 愛知県のもち奨励品種の中では、縞葉枯病に対して唯一抵抗性を示す。穂いもち圃場抵抗性は「やや強」、葉いもち圃場抵抗性は「十五夜糯」、「喜寿糯」と同様に「弱」である。



写真1 成熟期の草姿

左：喜寿糯、中：こはるもち、
右：十五夜糯

- (3) 成熟期の草姿を比較すると、稈長は「十五夜糯」、「喜寿糯」とほぼ同等である（写真1）。稈は他の品種に比較し太く、耐倒伏性は強である。穂数は少なく、穂長はほぼ同等だが、玄米千粒重が極めて大きいため、精玄米重は多い。
- (4) 穂発芽性は「難」で、「十五夜糯」の「やや易」、「喜寿糯」の「中」に比較し優れる。



写真2 玄米の比較

こはるもち

喜寿糯

十五夜糯

- (5) 千粒重は28gと極大粒で、他の一般的な品種に比較し約30%大きい（写真2）。収量は、早植栽培では「十五夜糯」に比較し約10%多収である。また、玄米の白度は高く、外観品質は良好である。

表1 「こはるもち」の特性

作期	早植栽培(5月中下旬移植)			普通期栽培(6月上中旬移植)		
	こはるもち	十五夜糯	喜寿糯	こはるもち	十五夜糯	喜寿糯
品種・系統名	こはるもち	十五夜糯	喜寿糯	こはるもち	十五夜糯	喜寿糯
早晩性(愛知県)	中生	中生	早生	—	—	—
出穂期(月日)	8.20	8.17	8.13	8.27	8.26	8.21
成熟期(月日)	9.30	9.25	9.21	10.11	10.08	9.30
稈長(cm)	78	77	74	72	74	73
穂長(cm)	20.0	19.7	20.6	19.8	19.5	20.0
穂数(本/m ²)	288	352	350	283	352	374
縞葉枯病	抵抗性	罹病性	罹病性	—	—	—
穂いもち	やや強	やや強	弱	—	—	—
白葉枯病	中	やや弱	弱	—	—	—
耐倒伏性	強	強	やや強	—	—	—
穂発芽性	難	やや易	中	—	—	—
精玄米重(kg/a)	53.6	48.7	48.1	45.7	45.2	42.8
(十五夜糯対比%)	110	100	99	101	100	94
玄米千粒重(g)	28.0	21.2	21.7	28.8	22.2	22.0
外観品質	4.8	5.5	5.4	4.6	5.3	4.9

注. 外観品質は、1(上の上)～9(下の下)の9段階評価。5:検査等級1等相当、6が2等相当

調査地点:農業総合試験場(長久手市)。早植栽培は2007～16年、普通期栽培は2007～14年のデータを使用。

3 食味および加工特性

- (1) もちについて、「十五夜糯」に比較し、粘りとのびが強く、外観と総合評価が優れる(表2)。
- (2) おこわは大粒のため外観が良く、味に優れる。また、粘りが強い。
- (3) もちの硬化は早いため、切りもちや米菓の製造工程で成形、切断等の作業効率に優れる(データ略)。

表2 もち、おこわの食味試験結果

調査品目	調査年次	品種名	総合	外観	味	粘り	のび
もち	2009	こはるもち	0.30	1.00**	0.20	1.00**	0.71**
		(基準)十五夜糯	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	2010	こはるもち	0.36	0.29	0.07	0.71*	0.71**
		喜寿糯	-0.29	0.14	-0.07	0.07	-0.29
おこわ	2011	(基準)十五夜糯	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		こはるもち	0.80**	0.53	0.53*	0.93**	—
	2011	喜寿糯	0.13	0.13	0.47	-0.07	—
		(基準)十五夜糯	0.00	0.00	0.00	0.00	—

注. **:1%水準、*:5%水準で、「十五夜糯」と有意差あり。

外観、味、総合については、5:極端に良い～-5:極端に不良。

粘りとのびについては、5:極端に強い～-5:極端に弱い。

パネラー数:14名。

4 現地試験結果及び普及性

- (1) 2010年から2017年にかけて、「十五夜糯」を対象とした延べ32箇所の現地試験を実施した(表3)。平均して、「こはるもち」は約8%多収であり、千粒重も28.0gと極大粒であった。
- (2) 外観品質についても、平均して5.0と1等相当であり、「十五夜糯」に比較し優れていた。
- (3) 有望度については、ほぼ全ての試験地で「有望～やや有望」の高い評価が得られており、今後の普及拡大が期待される。

表3 現地試験結果

調査年次	地域	品種名	収量		千粒重	品質	有望度
			kg/a	%	g		
2010年	岡崎市、新城市	こはるもち	47.8	118	26.7	5.0	◎
		十五夜糯	41.4	100	20.8	5.8	
2011年	春日井市、岡崎市、新城市	こはるもち	47.8	127	27.9	5.3	○
		十五夜糯	40.6	100	21.7	5.6	
2012年	名古屋市、春日井市、愛西市、岡崎市、西尾市、	こはるもち	49.3	99	28.5	4.8	○
		十五夜糯	49.9	100	20.8	5.2	
2013年	名古屋市、春日井市、稲沢市、愛西市、日進市、岡崎市、碧南市、豊川市	こはるもち	49.4	101	27.8	4.7	○
		十五夜糯	49.1	100	21.1	5.0	
2014年	名古屋市、春日井市、豊橋市	こはるもち	50.4	102	28.7	4.8	○
		十五夜糯	49.4	100	21.5	5.5	
2015年	名古屋市、春日井市、岡崎市、豊橋市	こはるもち	51.1	107	29.2	5.1	○
		十五夜糯	48.0	100	21.1	4.8	
2016年	名古屋市、日進市、犬山市、岡崎市	こはるもち	47.7	96	28.2	5.1	○
		十五夜糯	50.6	100	21.4	5.5	
2017年	名古屋市、日進市、岡崎市	こはるもち	57.8	113	28.9	5.4	◎
		十五夜糯	51.7	100	21.4	6.0	
平均		こはるもち	50.2	108	28.2	5.0	○
		十五夜糯	47.6	100	21.2	5.4	

注. 外観品質:1(上の上)~9(下の下)の9段階評価、5:検査等級1等相当、6:2等相当

有望度は試験を実施した生産者および農業改良普及課の評価。

◎:有望、○:やや有望、△:不明、×:有望でない。